

## 2 児童アンケート集計結果・考察

年度ごとの数値は「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合計した割合を示す。

◎は5ポイント以上の増加 ○は5ポイント未満の増加

－は1ポイント未満の増減

△は5ポイント未満の減少 ×は5ポイント以上の減少 を示す。

問1 先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれている。

R3 93.5% R4 95.4% R5 91.1% (△)

肯定的回答が減少した。児童が学習に対して意欲をもって主体的に臨んでいくために、「わかる授業」「楽しい授業」が行えるよう、さらなる「授業力の向上」に努めたい。

問2 漢字や計算の力がついてきている。

R3 91.0% R4 86.2% R5 87.1% (－)

肯定的な回答の割合はやや増加している。継続してドリル学習に取り組むと共に、今後もわかりやすい授業実践に努め、さらなる基礎学力の定着を図りたい。来年度は、鳴門市でAIドリル（タブレット）を導入予定である。

問3 テストでは、思い通りの点数がとれている。

R3 73.8% R4 66.9% R5 70.3% (○)

知識、技能を活用する力の育成を目ざし、児童が「わかった」「できるようになった」という達成感や満足感を持たせる授業が行えるよう、さらなる「授業力の向上」に努めたい。引き続き、授業や単元末での振り返りを大切にした授業改善に努めていきたい。

問4 進んで運動し、体力づくりをしている。

R3 87.7% R4 85.3% R5 85.1% (－)

感染症拡大を防止しつつ、放課後の体操練習や水泳練習、陸上運動などに取り組めたが、伸びていない。今後はより一層、体育科の授業の工夫や運動を進んでできる環境づくり等に取り組み、体を動かすことが好きな児童の育成に努めたい。

問5 授業中、人の話を集中して聞いている。

R3 93.5% R4 92.7% R5 88.1% (△)

感染症対策が緩和され、自由に話すことができるようになった。その反面、「聞く」場面が減ってしまった可能性がある。主体的で対話的な学習を展開し、学習活動の基盤となる「話すこと・聞くこと」の学習態度を確立していきたい

問6 宿題はきちんとしている。

R3 92.7% R4 91.8% R5 92.1% (○)

肯定的な回答割合は9割を超えている。今年度は、オンラインで家庭学習でのつなりの場面も創出した。引き続き「家庭学習のてびき」、「家でもしっかり学習しよう週間」を活用し、家庭との連携を図りながら、家庭学習習慣の確立に努めたい。

問7 グループで調べたり、話し合ったりする学習が好きである。

R3 83.7% R4 86.2% R5 90.1% (○)

肯定的な回答割合が増加傾向である。タブレットを利活用し協働的な学びの場面が増え、そのよさを実感できているのではないだろうか。一人一人が考え、活動することを基盤に、主体的・対話的で深い学びを実感するような場づくりを工夫していきたい。

- 問8 テレビやパソコンを使った学習が好きである。  
**R3 88.6%**      **R4 89.9%**      **R5 93.1% (○)**  
ICTさらにを効果的に活用するとともに、児童の情報活用能力等の育成を図っていききたい。
- 問9 自分には、よいところがある。  
**R3 81.1%**      **R4 80.7%**      **R5 80.2% (－)**  
自分を見つめる場面を持たせたい。現在、「FEELBOT」(感情ケアソリューション)の導入を進めているところである。また、規則正しい生活習慣を身につけることは、自己肯定感を育む上でも重要な役割を果たしているのので、こうした取組を一層進めていきたい。
- 問10 先生は、勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれる。  
**R3 91.0%**      **R4 93.6%**      **R5 91.1% (△)**  
問9「自分には、よいところがある」の回答状況と連動している。児童が活躍できる場を設定し、タイミングよく具体的に賞賛することに教師側も配慮に努め、自尊感情を高めていきたい。
- 問11 物事がうまくいかないとき、ねばり強くがんばり続けることができる。  
**R3 86.1%**      **R4 81.7%**      **R5 85.1% (○)**  
行動制限が解除され、様々な活動が再開できたためチャレンジできるものが増えたことも要因であろう。引き続き学習活動等の最初の場面で、全体をとおした学習活動の見通しを持たせることにより、主体的に取り組む態度が身につけさせていきたい。また、児童の意欲を高める指導と粘り強さを育てる指導を一体的にとらえていく。
- 問12 どうしようか迷ったとき、自分の判断で行動するようにしている。  
**R3 83.6%**      **R4 79.8%**      **R5 81.2% (○)**  
肯定的な回答割合が増加した。「自己決定」の場を意図的に設け、ルールに基づき、自他のためになる行動を選択し、責任ある行動をする機会を与える。また、判断力を高めるために、情報収集能力や協働する力も育成していきたい。
- 問13 身の回りの整理整頓は、自分でできている。  
**R3 88.5%**      **R4 87.2%**      **R5 87.1% (－)**  
引き続き、児童自身が整理整頓の意味をしっかりと理解し、家庭との連携を図りながら指導していくことで、習慣化させていきたい。「自分はできる」という自己肯定感の育成にも繋がっていくと考えられる。
- 問14 朝は、決まった時間に起きています。  
**R3 87.7%**      **R4 77.1%**      **R5 82.2% (◎)**  
肯定的な回答割合は昨年度より大きく増加している。問26「『早寝・早起き・朝ご飯』を守っている」の回答状況と連動しており、今後とも家庭と連携し、粘り強く指導していきたい。
- 問15 先生、友だち、近所の人に進んであいさつをしている。  
**R3 84.4%**      **R4 92.6%**      **R5 88.1% (△)**  
肯定的な回答割合は昨年度より減少している。今年度は「えしゃく」することも目標に掲げていただけに残念である。あいさつ運動を継続して実施したり、家庭と連携して取り組んだりするなどして、進んであいさつする態度を粘り強く育成していきたい。

- 問16 係や当番の仕事，そうじなどは，積極的に取り組んでいる。  
R3 91.0% R4 92.7% R5 91.1% (△)  
肯定的な回答割合は9割を超えているものの，自分や人のためにできることに気づき，自分なりに考え，しっかりと行動し，好ましい社会態度が身につけられるよう引き続き取り組んでいきたい。
- 問17 学級，学校の一員として周りとは協調しながら行動している。  
R3 88.6% R4 89.9% R5 90.1% (－)  
今後も，よりよい人間関係を築き，いろいろな人と協調・協力することができる児童を育成するよう，全校体制で取り組んでいきたい。様々な教育活動の中で児童の活躍の場を多くしていきたい。
- 問18 地域の行事に参加している。  
R3 57.4% R4 50.9% R5 64.4% (◎)  
行動制限が解除され，地域の様々な行事が復活された。放課後や休日にゆとりの少ない児童も多いが，地域行事参加の効用について，引き続き啓発を図っていきたい。
- 問19 先生は困ったり悩んだりしたときには，相談にのってくれる。  
R3 87.7% R4 90.8% R5 90.1% (－)  
児童が相談しやすい雰囲気をつくるとともに，学級担任や養護教諭，スクールカウンセラーなどと連携しながら，日常生活の把握に努めていきたい。児童の感情ケアを全職員で実行できる体制を整えていきたい。
- 問20 学校へ行くのが楽しい。  
R3 79.5% R4 82.5% R5 88.1% (◎)  
改善傾向であるが引き続き，教師と児童，児童同士の人間関係づくりを基盤としながら，楽しい学級・学校づくりに取り組み100%をめざしたい。
- 問21 事故などにあわないよう，いつも気をつけている  
R3 96.7% R4 92.7% R5 96.0% (○)  
肯定的な回答割合は9割を超える。危険を予測し回避する能力の育成や安全管理，保護者や地域との連携をとおして，継続的に安全教育に取り組むたい。
- 問22 避難訓練などは，真剣に取り組んでいる。  
R3 98.4% R4 95.4% R5 96.0% (－)  
年間を通じて防災教育に取り組んでいるが，今後も，学校，家庭，地域との連携協力を図り，発達段階に応じて，児童一人一人が災害に適切に対応する能力を確実に身につけられるよう，教育活動全体を通じて，体系的，計画的な指導を図りたい。
- 問23 いじめはどんな理由があってもいけないことである。  
R3 97.5% R4 97.2% R5 92.1% (×)  
減少傾向である。非常に残念な結果と言わざるを得ない。いじめ防止教育の徹底に努めると同時，温かい人間関係が築けるようカウンセリングマインドを全教職員で高めていく。また，今後もいじめを許さない態度，思いやりのある心を育むよう，いじめ防止基本方針に基づき，いじめ0を旨として取り組んでいきたい。
- 問24 本をよく読んでいる。

R3 86.0% R4 78.0% R5 68.3% (×)

大幅に減少している。これまでも本の読み聞かせや学校図書館サポーターによる支援、「多読賞」の表彰等、ボランティアの方々や学校図書館サポーター等と連携してきたが、効果が出ていない。電子書籍の導入も検討したい。

問25 テレビ、ゲーム、スマホ等は約束を守って使用している。

R3 84.4% R4 81.6% R5 77.2% (△)

肯定的な回答割合は昨年度より減少している。やはり家庭との連携は重要である。情報モラルに関する指導は、学習活動の様々な場面で適時、継続的な指導が必要であり

問26 「早寝・早起き・朝ご飯」を守っている。

R3 86.0% R4 78.9% R5 82.2% (○)

好転したことは嬉しい限りである。家庭の取り組みに感謝したい。健康観察等から、基本的な生活習慣の確立の度合いを見とるとともに、児童に基本的な生活習慣の重要性を認識させ、発達段階に応じた一貫した指導を家庭と連携しながら、計画的、継続的に取り組んでいきたい。

問27 学校でのできごとを家でよく話している。

R3 81.9% R4 76.1% R5 84.2% (◎)

好転したことは嬉しい限りである。依然として児童の学年が上がるにつれて、保護者と話す機会も少なくなっていく傾向にあるが、家庭で児童との会話の時間を増やせるような話題づくりができるように努めていきたい。

問28 週3日以上、家で読書しようとしている。

R5 60.4% (新規)

本年度、新たな質問項目である。次年度の参考にしたい。

問29 えしゃくをしている

R5 87.1% (新規)

本年度、新たな質問項目である。次年度の参考にしたい。

問30 毎日、運動しようとしている

R5 75.2% (新規)

本年度、新たな質問項目である。次年度の参考にしたい。